

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター第六期中期計画	1
滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの沿革	2
第六期中期計画での基本的課題と試験研究	4
各試験研究の概要	6
琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用	6
● 在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究 二枚貝等を評価指標とした湖辺環境改善手法の検討・実装に関する研究	【推進機構研究】 6 【政策課題研究 1】 7
● 在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究	【政策課題研究 2】 8
● 湖沼の円滑な物質循環につながる要件と指標に関する研究	【政策課題研究 3】 9
● 生物多様性保全・再生に関する研究	【政策課題研究 4】 10
● 琵琶湖を育む森林に関する研究	【政策課題研究 5】 11
● 南湖生態系に影響を及ぼす湖底環境等に関する研究	【政策課題研究 6】 12
● 新指標（底層 D0）等のモニタリング計画の策定と評価の具体的検討	【調査解析 1】 13
● 琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリングと プランクトン予測手法の検討	【調査解析 2】 14
● 琵琶湖等水環境のモニタリング	【分析評価モニタリング 1】 15
● 国立環境研究所・琵琶湖分室との連携研究 健全な水環境保全のための水質・湖底環境に関する研究	16
● 湖沼の生態系の評価と管理・再生に関する研究	17
環境リスク低減による安全・安心の確保	18
● 滋賀県における光化学オキシダント等の濃度変動要因の把握	【調査解析 3】 18
● 緊急時における化学物質調査手法の検討	【調査解析 4】 19
● 大気環境のモニタリング	【分析評価モニタリング 2】 20
● 水士環境の発生源モニタリング	【分析評価モニタリング 3】 21
気候変動に適応した豊かさを実感できる持続可能な社会の構築	22
● 気候変動に対応する持続可能な社会にむけた戦略的シナリオに関する研究	【政策課題研究 7】 22
センター業務概要、試験研究の推進および成果等の普及	24
施設の概要、主な研究設備、主なデータベース・調査結果	25

滋賀県琵琶湖環境科学研究センターは、環境政策を科学的知見から支える試験研究機関として、琵琶湖と滋賀県の環境における基本的課題に対応するため、令和2年度～4年度の間に取り組む試験研究の内容を、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター第六期中期計画（以下、「第六期中期計画」という。）に定めています。この第六期中期計画に基づき、継続的なモニタリングや調査を行い、現状を把握するとともに、環境情報や知見の総合的な解析を通じて、政策提言や課題提起を行います。試験研究は、以下の政策課題研究、調査解析、分析評価モニタリングの3つの区分により、実施します。

政策課題研究

・モニタリング結果や科学研究の知見等の幅広い集約や、モデル等の活用により、全体的視野から総合解析を推進し、これまでの施策効果の総合的な検証を行い、施策等の方向性やあり方を提言します。



調査解析

・調査分析手法等の検討、モニタリング結果の解析により、課題の詳細な把握、予見される現象の整理を行います。



分析評価モニタリング

・法律等に基づいて現状を把握するための基礎的なデータの収集と分析結果の評価を行うことにより、発生源からの負荷や環境基準への適合状況等を継続監視し、環境の変化や課題を明らかにします。

